

Dさん（男性・40代）



これまでの生活  
高校卒業後より20年間ひきこもりの生活を続けていました。  
それまで一緒に生活していた両親が亡くなり、姉と生活することになりました。

きっかけ

姉が市役所へ相談し、日中活動の場を紹介されました。



経過

日中活動の場に通うこととなり、作業や余暇活動（カラオケ等）に取り組み、生活の幅がひろがっていきました。



現在の生活

通うことにも慣れ、自宅以外で過ごす為に泊まりのサービスの利用にも挑戦し、新しいことにも取り組んでいます。



支援者からのコメント  
スムーズに日中活動の場に慣れて頂きました。私たちも新しい仲間が増えてとても嬉しい気持ちです。

5ページ

## 事例紹介

Aさん（女性・60代）



これまでの生活  
軽度の知的障害があり、母と2人で社会と関わる事なく生活を送っていましたが、母が亡くなり1人での生活になりました。

きっかけ

地域の方がひとりでの生活が難しいと判断し、市役所へ相談しました。



経過

市役所より日中活動の場を紹介してもらい、少しずつ通うようになりました。



現在の生活

毎日、日中活動の場に通い、仕事や余暇活動、旅行等にも参加し充実した生活を送っています。



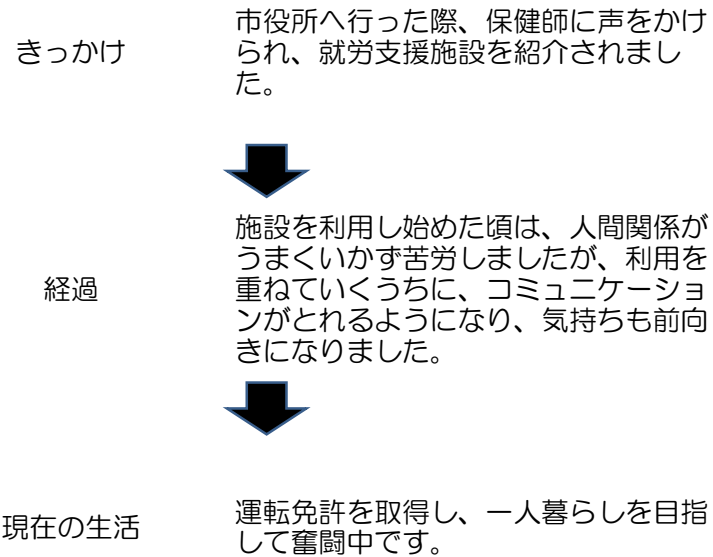
本人からのコメント  
仕事になれてきました。ピーズをしたり、絵をかいたり、旅行に行ったり仕事以外にも楽しいことがあります。

2ページ

Bさん（男性・40代）



これまでの生活  
小・中学校でいじめにあい、不登校気味になり高校は中退。  
16年間ひきこもりの生活を続けていました。



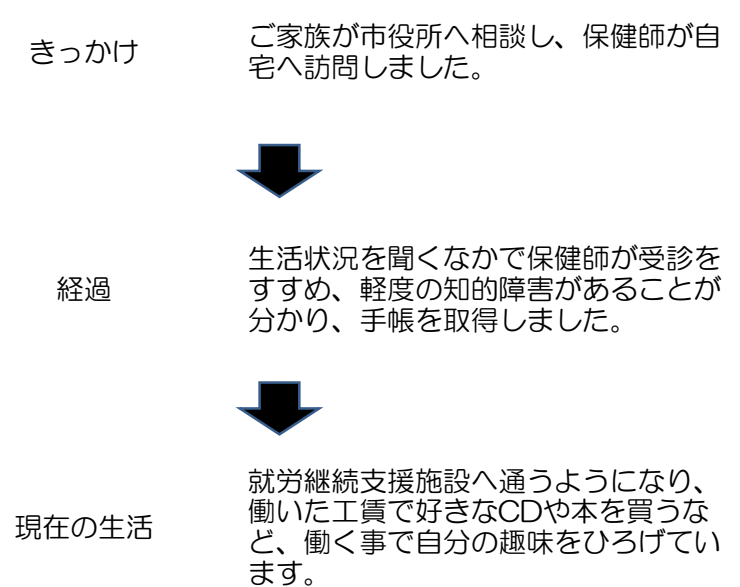
本人からのコメント  
引きこもっていた時は、僕の人生は終わったと考えていたが今はしんどいけれど再び人生を生きなおしている。そう感じている。

3ページ

Cさん（女性・30代）



これまでの生活  
高校卒業後、一度就職をしましたがすぐに退職し、15年間ひきこもりの生活を続けていました。



本人からのコメント  
仕事に行くようになり、働いたお金でほしい物を買えるようになり嬉しい。これからも作業を頑張っていきたいです。

4ページ